

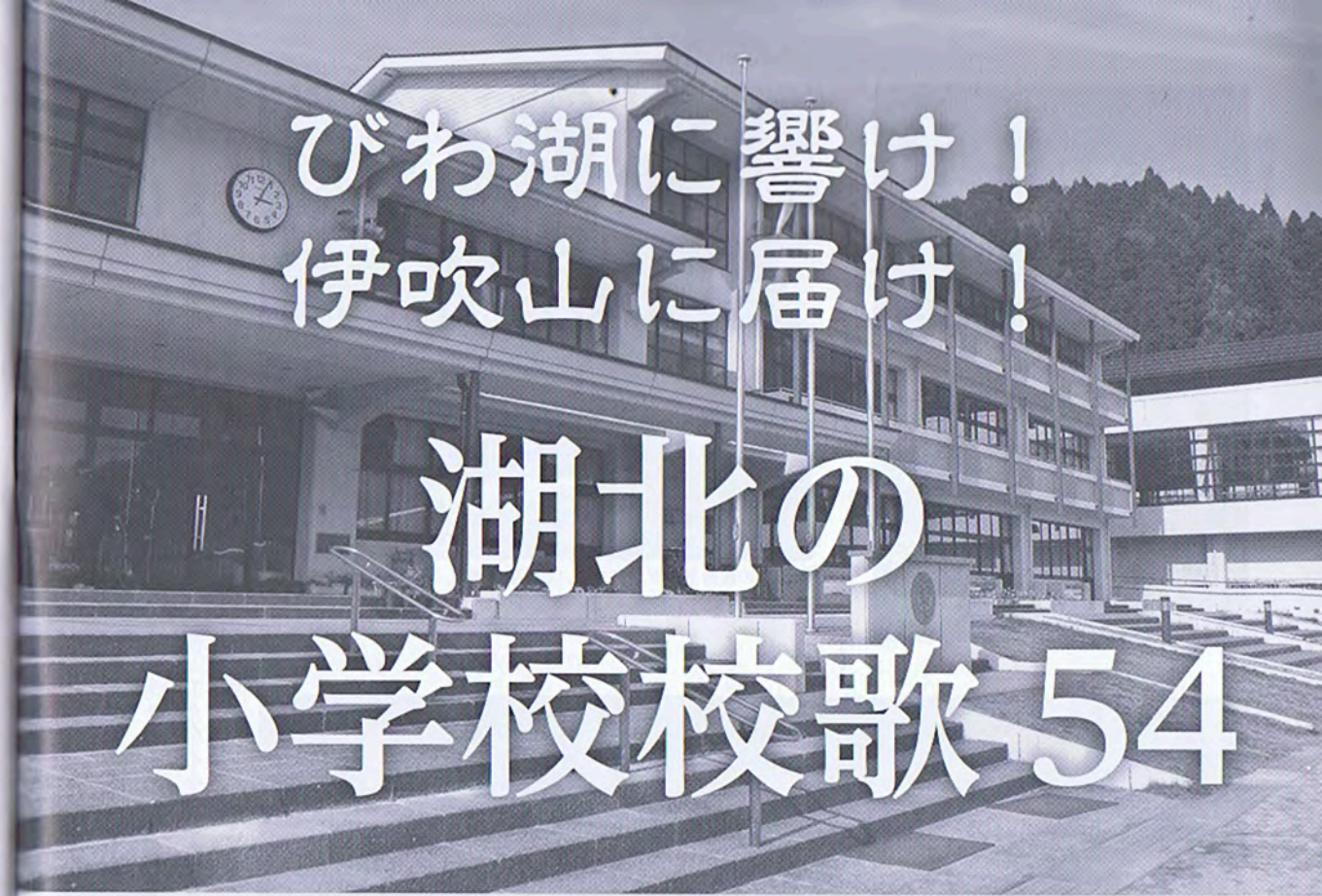


♪ 作詞作曲者はp46、47で紹介
恵まれた自然の中でたくましく生きる子どもたちの姿を描き、伸びゆく子どもたちへの願いに満ちている。



1 塩津小学校

(長浜市西浅井町塩津中)



びわ湖に響け！ 伊吹山に届け！

湖北の 小学校校歌54

▲余呉小学校

塩津小学校校歌

作詞 木保 修
作曲 沖 不可止

1 湖のさざ波 鶏けいの島
若葉はもやに 匂におつてる
明るい窓に 声こゑあけて
みんな学ぼう いいきいきと
夢を大きく 伸のばすのだ
まゆに希望は 光あつてる
近江の北の西浅井
われらの塩津小学校

2 空は明るい 青い雲
港に船の 招まねいてる
すがしい土に 胸むねはつて
みんな跳ねよう 元げん気よく
強い体を つつくるのだ
肩に使命は かかかっている
近江の北の西浅井
われらの塩津小学校

3 山は白銀 凍る雪
つららも軒を ととざして
さびしい冬と たたたかたつて
みんな堪えよう たたくましく
花の咲く日も ももうすぐだ
若い生命は ははずんでる
近江の北の西浅井
われらの塩津小学校

2 永原小学校

(長浜市西浅井町大浦)



♪ 子どもたちが美しい自然の中でたくましく成長してほしいという願いが込められている。

永原小学校校歌

作詞 川越 真吉
作曲 今藤 恵水

1 日ひ計けい山の空あおく
みどりはかおる 学まなび舎やに
若わかき希望にあふれつつ
いいざや学まなばん 手てをとりて

2 大浦川の水澄みて
流れゆたかな この里に
感謝の誠 ささきげつつ
いいざや磨とかん この心



▲2本の鉄塔左側の少し奥の高いところが「日計山」。右側の丸いドームの右奥に永原小が見える(撮影/村田良文さん)

どこからか、生徒たちの歌う校歌が聞こえてきます。
入学式、卒業式などの式典、運動会など
みなで声をそろえる学校の歌。
どの学校の体育館にも掲げられ
玄関や音楽室、1年生の教室でも目にするその歌詞には
同じ湖北のまちといってもさまざまな事象が登場します。
伊吹山、びわ湖、そばを流れる川：
子どもたちの未来を祝福することは
学校生活に託した夢…。
ふとくちずさめば
メロディーにのって
友の顔が浮かんできます…

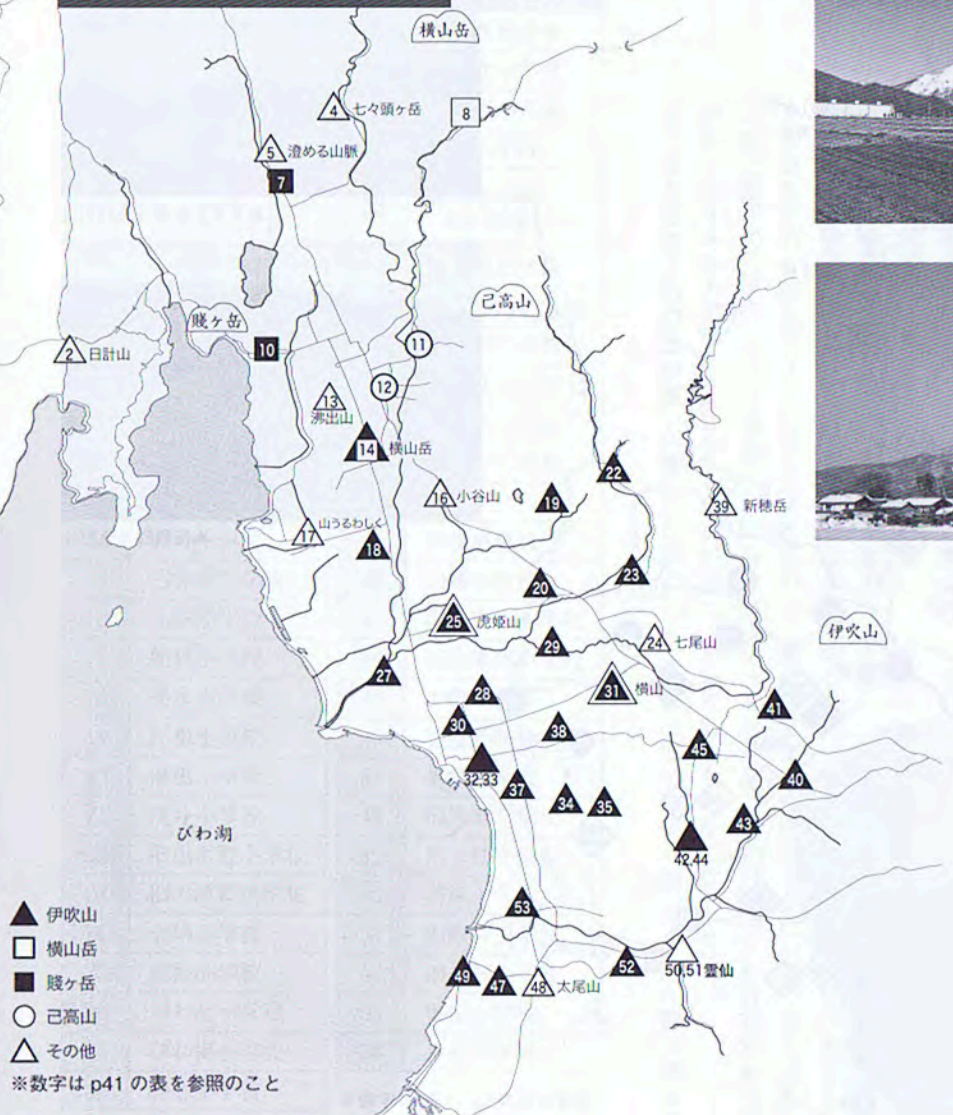
今回の特集では、
各小学校のご協力のもと、
統合などで今はなくなった学校も含め
54の校歌を紹介します。

♪ 作詞作曲者
♪ 歌詞について
♪ 制定年
♪ エピソード



※旧校の所在地は閉校時

校歌に登場する山 (図1)



▲湖北の雄・伊吹山



▲雪の己高山

校歌にちりばめられた郷土愛

山は伊吹、水はびわ湖!?



▲水鳥遊ぶびわ湖

湖北の校歌に出てくる歌詞といえは「伊吹山やろー!」という方も多いと思う(私もその一人。実際小・中・高の校歌は「伊吹」でスタートしたからだ)。しかし、なかには伊吹山が見えない学校もあるし、近江の象徴であるびわ湖から遠い所もある。

校歌の歌詞に表現されるキーワードから、地域性の一端を探ってみた。さて、結果はどうだったかというと…

山は伊吹山だけじゃない

今回、統計の資料としたのは、湖北(長浜市・米原市)に現存、または統合前に存在した小、中、高校(養護学校は小学校に含む)計84校。それらを通して最も多く取り上げられている歌詞は、予想通り伊吹山(45校)だ。しかしその割合を見ると、意外にも、小52・8%、中60%、高62・5%、全体で53・6%と半分強である。特に小学校は学区割が小さいため、キーワードは必然的に多様になる。地域性もあるが、やはり山、川などの自然を歌詞に入れたケースが多い。

1位の伊吹山が登場する学校は、旧長浜市内は全校、次いで米原市内と旧東浅井郡内が多く、旧伊香郡では1校(高月小)のみ(図1)。ではほかの学校には、どんな山が出てくるのかというと、複数の学校が登場する賤ヶ岳(余呉小、伊香具小)、己高山(高時小、富永小)、横山岳(杉野小、高月小)、靈仙山(河南小、旧醒井小)、をはじめ、学校の目前にある小谷山(小谷小)、七尾山(七尾小)、日計山(水原小)などとなるわけだ。それにしても、里山の豊かな滋賀のこと、登場する山は多彩だ。湧出山(七郷小)、七ヶ頭ヶ岳(旧丹生小)、横山(北郷里小「臥龍」として登場)、太尾山(旧米原小)、新穂山・国見岳(東草野小)など。校区にある山は、おそらく在校中に何度となく親しむ「地域の山」である。(図1参照)